

記入例

利用権設定の各筆明細書

(国東市原簿・借り手用・貸し手用)

農委記	受付日	新規設定 ・ 再設定
	入力No	整理番号
宣誓書(所有者:)		

貸手契約者は、基本的には土地の所有者。
所有者が死亡又は署名が困難な場合には、相続人の代表者が契約者(利用権設定届出者)となる。その場合、別紙の「宣誓書」を必ず添付してください。

1. 各筆明細書

利用権の設定をする者(貸手)			郵便番号	住所			電話番号	氏名			同意年月日
利用権の設定をする者(貸手)			〒 - x x x x	国東市 町 1234番地			- x x -	国東花子			令和元年 5月27日
利用権の設定を受ける者(借手)			〒 -	国東市 町 x x x 2345番地			- -	鶴川太郎			令和元年 5月27日
利用権の設定をする者以外の者で利用権を設定する土地につき所有権その他の使用収益権を有する者			〒 -				- -				年 月 日

利用権を設定・移転する土地				設定・移転する利用権の内容							利用権の移転時期 支払期間	利用権引渡時期	利用権を設定する土地の利用権を設定する者以外の権原者等				備考	
所在			地番	現況地目	面積(m ²)	利用権種類 (賃借権/使用貸借)	内容	始期	存続期間 (終期)	賃借料			支払方法	住所	氏名又は名称	権原の種類		当該権原者の同意日
町	大字	字																
国見町	伊美		2345-1	田	1,234	賃借権(使用貸借)	水田/畑	令和 年 月 日	令和 年 月 日	反当5,000円	年末支払							
国東町	鶴川		123-2	畑	580	賃借権(使用貸借)	水田/畑	令和 年 月 日	令和 年 月 日	無償								同意年月日を記入
計			筆数	田	1	筆	畑	1	筆	樹園地	筆	その他	筆					
			面積(m ²)	田	1,234	m ²	畑	580	m ²									

今回利用権を設定する土地すべてを記入してください。

【権利の種類】
賃借権：有料での契約
使用貸借権：無償での契約

総会議決後、翌月1日以降の日付としてください。

1年～50年以内契約期間は、全筆統一してください。異なる場合は、別契約にしてください。

賃借料について具体的に記入してください。

1年間の作業延日数

2. 利用権設定等を受ける者の農業経営の状況

氏名又は名称		鶴川太郎			性別	男	年齢	35	農業従事日数	250	日	農家台帳番号			
利用権設定等を受ける土地の面積(m ²)	利用権の設定を受ける者が現に耕作又は養畜の事業に供している農地の面積(m ²)		利用権の設定等を受ける者の主たる経営作物		兼業の有無			利用権の設定等を受ける者の世帯員(構成員)の農業従事者及び雇用労働力の状況				利用権の設定等を受ける者の主な農機具の所有状況		利用権の設定等を受ける者の主な家畜の飼養状況	
	農地	1,814	農地	12,345	区分	有無	職種	世帯員(構成員)	農業従事者(うち15歳以上60歳未満の者)		雇用労働力(年間延日数)	種類	数量	種類	数量
採草放牧地	0	採草放牧地	0	水稲・みかん	本人	無		男	2	人	農業専従者	(1 人)	350	トラクター 乗用田植え機 コンバイン 軽四トラック	1台 1台 1台 1台
その他	0	その他	570		後継者	有	会社員	女	1	人	農業補助者	(1 人)			

*記入上の注意

この各筆明細は、利用権設定の当事者毎に別葉とする。利用権の設定を受ける者が同一で、利用権を設定する者が異なる場合は、整理番号に枝番を付して整理する。
面積は、土地登記簿によるものとし、土地登記簿の地積が著しく事実と相違する場合、土地登記簿の地積がない場合及び土地改良事業による一時利用の指定を受けた場合、1筆の1部について利用権が設定される場合には、m²の内 m²と記入し、当該部分を特定できる図面を添付する。
「利用権の種類」は、「賃借権」等と記入する。
「内容」は、利用権設定による当該土地の利用目的(例えば、水田として利用、普通畑として利用、樹園地として利用、農業用施設用地として利用)を記入し水田裏作を目的とする賃貸借の場合は、その利用期間を併記する。
「存続期間(終期)」は、「年」又は「〇年〇月 日まで」と記載する。
「賃借料」は、当該土地の1年分の賃借料(期間借地の場合には、利用期間に係る年分の賃借料)の額を記入する。
「支払方法」「支払期限」は、賃借料の支払方法と支払期限(例えば、農協の 名義の預金口座に毎年 月 日までに振り込む等)を記入する。

世帯員の農業従事状況及び雇用労働者の就労延日数